

## 式 辞 （全文）

暑く長く続いた今年の夏もいつしか秋に取って代われ、朝晩はめっきりと冷え込むようになりました。

本日「文化の日」に、ご来賓各位のご臨席を頂く中で、令和七年度南木曽町表彰式を挙げる運びとなりました。町の発展のために多大なるご尽力を頂いた皆様を表彰できますことは、当町ならびに町民にとってこの上ない喜びであります。まず持って受賞者皆様方のご労苦とご功績に敬意と感謝を申し上げますと共に、心よりお喜びを申し上げます。またご多用の中、ご臨席の栄を賜りましたご来賓各位には厚く御礼を申し上げます。

本日の表彰式は、永年にわたり町づくりの各分野において献身的な活動が続けたり、町勢の進展や住民の皆さんの模範となる徳業を示すなど、多大な貢献をされた皆様に表彰する意義深い式典であります。

受賞される皆様方は、それぞれのお立場で永年にわたって誠心誠意ご努力ご苦勞を重ねられ、その積み上げられた成果が町や地域の発展、或いは町民の福祉向上、生活改善などに対して功績をもたらしているものであり、重ね重ねお礼を申し上げる次第です。また、一緒に支えてこられたご家族や関係の皆様にも感謝を申し上げます。

皆様方活躍の源は、なんと言っても「郷土愛の精神」とも言えるふるさとを愛し、ふるさと南木曽や地域を思う気持ちにほかなりません。このような思いこそが活力ある南木曽町を創り上げていく上で欠かす事の出来ないものであり、私共も皆様方示された崇高な精神を見習い受け継いでいかねばならないとの思いです。

南木曽町には人口の減少問題はじめ様々に課題が山積していますが、こんな時にこそ、時々の課題に正面から向き合って取り組んでこられた皆様方の姿を思い浮かべながら、住民の皆さんと一緒に町づくりを進め、一人ひとりが健康で幸せに暮らしながら活気溢れる町となるよう努めていかねばなりません。先人や諸先輩方のたゆみない努力により築きあげられた「南木曽」という町、それぞれの地域を受け継ぎ守り育てていく事こそが、この町に住む私どもの最大の使命でもあります。

町としましては、そのために様々な施策や取り組みを行っている訳ではありますが、どうか皆様方には、これまで培われた経験や見識をもとに引き続きのご教示を賜りますようご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、受賞者皆様の更なるご活躍を期待すると共に、本日ご列席の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げまして式辞といたします。

（令和7年11月3日 南木曽会館ホール）